

事業所における自己評価結果(公表)

公表：6年 3月 22日

事業所名 縁フールド明和

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	パーテーションを使用して視界をさえぎるなどの工夫や別室での活動などを行っています。	目的別に空間を区切るなど、混乱しないような工夫と整理整頓をして構造化を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	朝礼・終礼で毎日の振り返りと改善の共有を行っています。	改善内容に対する行動目標を、より具体的にたててチームで取り組めるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ホームページに公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		事業所内事例検討会や法人での研修を実施しています。	知識・技術の向上に努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5		事業所として今後積極的に取り入れ利用時の子供の把握と支援に繋がっていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		必要な支援を適切かつ具体的に設定していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		イベントに限らず、プログラムの組み合わせの創意工夫をチームで検討していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			アンケート調査を行い、意見を参考にしながら工夫をしています
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		状況や目的に応じて個別、集団のグループ分け活動を行います。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	7		天候や健康状態等も含めて、朝礼で確認をしています。	
	18	7		終礼で確認と振り返りを行い、共有をしています。	
	19	7		ノートに記録をとることによって子どもの様子を振り返り支援の改善に繋がっています。	
	20	7			
関係機関や保護者との連携	21	7			
	22	5	2	母子保健から情報共有をしてもらっています。	情報共有や相互理解に努めていきます。
	23				該当者なし
	24				該当者なし
	25	5	2	必要に応じて見学や情報の共有を行っています。	情報共有や相互理解に努めていきます。
	26	6	1		情報共有や相互理解に努めていきます。
	27	3	4	協議会で他の事業所と意見交換や助言を受けています。	積極的に研修に活かしていきます。
	28		7	屋外活動の際に遊ぶことがあります。	連携を図ることができるように検討していきます。
	29	7		ワーキング部会へ積極的に参加しています。	
	30	7		送迎時の時間を有効に活用しています。	
	31		7		保護者面談を行っています。
32	7		文書とともに口頭での説明をしています。		
33	7				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	送迎時や電話などで行っています。	保護者面談を行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		計画して、保護者同士の連携や協力関係の構築に配慮していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			迅速かつ適切に対応するために、再度、説明と周知を行います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		公式ラインやブログ等も活用しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		絵カード、写真カードなどを活用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		行事を計画して地域の皆様と交流する機会を作っていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			公式ラインを利用して分かり易く伝えます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者様と情報の共有をしています。	指示書はないので、必要に応じて提出を促します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。